

## 「Trimble® SPS トータルステーションシリーズ」リリースのお知らせ

2007.10.19

株式会社ニコン・トリンプルは、建設・土木向けサーボトータルステーション「Trimble® SPS トータルステーションシリーズ」の販売を 2007 年 10 月 25 日から開始しますので、お知らせいたします。

### [概要]

「Trimble SPS トータルステーションシリーズ」は、現況観測・出来形測量など、建設・土木分野における測量作業に特化したサーボトータルステーションです。近年高まる情報化施工対応へのニーズを背景に、正確かつ効率的に作業できるハイエンドの測量システムとして開発されました。

### [特長]

#### ・多彩な機能を搭載

＜Autolock®機能＞トータルステーションが自動的にターゲットを捕捉する「自動視準機能」と、ターゲットの動きを捕捉し続けて観測スタンバイ状態を保つ「自動追尾機能」を統合した、「Autolock 機能」を搭載。従来のマニュアル操作機種に比べ、視準から観測までの操作時間を大幅に短縮することができます。

＜Robotic 機能＞コントローラ「Trimble® CU」は、トータルステーション本体から取り外しての遠隔操作が可能。このコントローラをプリズム側に取り付ければ、Autolock 機能との相乗効果により、ひとりでも効率的に測量することができます。

＜ノンプリズム機能＞プリズムの設置をせずに測距が可能。軟弱地盤などの危険な場所や橋梁の補修現場など人が近づくことが難しい場所でも、安全かつ効率的に測量作業を行うことができます。

#### ・最先端のテクノロジーで「ひとりでも、簡単・高精度」を実現

電磁誘導(リニアモーター)式のギアレス駆動システム MagDrive™(マグドライブ)、全く新しい角度補正技術 SurePoint™(シュアポイント)、アクティブ/パッシブといった方式を問わずあらゆるターゲットに対応する技術 MultiTrack™(マルチトラック)など、Trimble 独自の技術を集結。一人でも、非常に精度の高い測量作業が簡単に行えます。

#### ・土木施工管理を省力化

コントローラ「Trimble CU」に搭載される土木施工管理ソフトウェア「Trimble® SCS900」は、現況観測、出来形測量、測設、土量計算など、あらゆる土木計測の作業に対応。トータルステーション、コントローラ、ソフトウェアが連携した設計となっているため、わずらわしい通信設定は不要です。グラフィカルな画面設計で操作の習得もしやすいため、現場でのストレスを軽減します。また観測データは、付属のオフィスソフトウェアを利用して、汎用性の高いエクセル形式のレポートとしての出力が可能。

現場で、オフィスで、管理作業の省力化に貢献します。

・SPS GNSS/GPS 受信機とのコントローラ共有が可能

コントローラ「Trimble CU」は、Trimble SPS GNSS/GPS 受信機(近日リリース予定)との共有が可能です。現場の環境や必要精度にあわせた測量機器の切り替えが、スムーズに行えます。

・長時間使用に耐えるバッテリー

標準装備の小型リチウムイオンバッテリーは、1個で約6時間の使用が可能。バッテリーを追加すれば、終日の作業にも対応します。

**[Trimble SPS トータルステーションシリーズのラインナップ]**

- Trimble SPS610 トータルステーションシリーズ
- Trimble SPS730 トータルステーションシリーズ
- Trimble SPS930 トータルステーションシリーズ

※各製品の仕様についての詳細は、

HOME>製品情報>トータルステーション>Trimble SPS トータルステーションシリーズ内  
スペック比較表ページ([http://www.nikon-trimble.co.jp/product/spec/sps\\_ts.html](http://www.nikon-trimble.co.jp/product/spec/sps_ts.html))をご覧ください。

※SPS730/SPS930 は、自動追尾仕様のマシンコントロール用 ATS にアップグレードが可能です。  
マシンコントロール用アクティブターゲットを準備しております。

なお本製品は、ニコン・トリンブルの販売ネットワークから出荷されます。

■ この件に関するお問い合わせ

株式会社ニコン・トリンブル コンストラクション営業部 (TEL 03-3737-9411)

※発売日、仕様等は予告なく変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。